

滋賀県レイカディア大学 同窓会 甲賀・湖南支部だより	第21号 滋賀県レイカディア大学 同窓会 甲賀・湖南支部 発行責任者 森井幸三
---	--

<主な内容>

表紙					1
巻頭言	普段、気に留めていること	32期	生活	寺崎 勉	2
受賞者の言葉	私の人生	13期	生活	杉本つた子	3
	先輩に感謝	34期	園芸	大平稔美	3
活動記録	民謡ボランティア元気なお年寄りに	21期	スポ	鈴木 勲	4
	第9回地域活動事例発表会	33期	園芸	高田信男	5
みんなの広場	沖縄への旅	24期	スポ	井代一代	6
支部事業活動報告					
	趣味の作品展と新入会員歓迎会	22期	陶芸	小林和雄	8
	甲賀・湖南支部 日帰り旅行	34期	園芸	浦田好造	9
	ボランティア活動の実態を聞き取り調査	33期	園芸	高田信男	11
	甲賀・湖南支部の グラウンドゴルフ大会の報告	27期	陶芸	畑中良一	12
同好会活動記					
	里山ハイキング同好会				
	太郎坊宮散策	31期	地文	高山雅史	13
	高旗山と御斎峠展望台ハイキング	32期	生活	大塚勝義一	14
	グラウンドゴルフ同好会	22期	スポ	木田勝彦	15
編集後記		33期	陶芸	林 弘實	16



レイカディア大学同窓会甲賀・湖南支部 日帰り旅行 神戸市立森林植物園

巻頭言

普段気に留めていること

- 1 不条理の傍観者でよいのか
- 2 始める事をやめなければ老いない

なかなか実行出来ない自分の思い

32期 生活科学 寺崎 勉

今年の夏は猛暑でひと夏に2年分の夏を過ごしたような感覚で、2年分の年を取ったかのように過ぎていきました。やっと気持ち良さを感じる秋になったと思ううちに、今度は寒さについての挨拶をかわす時期になってきました。

今回順番で甲南地区がこの欄を埋める当番ということで私に廻ってきました。

私は普段気に留めていることが2つあり、出来たらそのことを行動にしたいと思っています。

1つ目は不条理の傍観者でよいのか…ということです。私には知識や行動力等何もありませんので世間の不条理な動きについて何をどうするという力もありません。誰から見ても何が不条理だと他人に説得する力もありません。が各種の会合などで出来るだけ質問をしたり意見を述べたりすることで傍観者にならない様にと考えています。

2つ目の始める事をやめなければ老いない…についてです。本来の考え方とはだいぶかけ離れているかもしれませんが、自分勝手に都合の良い事をしながら満足しています。

それは畑での野菜栽培です。昔から野菜栽培など土いじりが好きでしたので、この作業は何の苦にもなりません。実はレイ大も園芸に入りたかったのですが競争率が高いとの話でしたので生活科学に入ったのです。

家では約2反の畑を耕しています。今原稿を書いている12月初めですが畑でダイコン ネギ等約40種類の野菜を作っています。

毎年珍しい野菜を栽培することに努めています。他の方から見ると珍しい野菜ではないと思われる種類があるでしょう。しかし私なりに楽しみ、知り合いの方に分け、「この野菜何という野菜？ どうして食べるの？」などと聞かれると嬉しくて満足しています。例えばルッコラ ヤーコン 紫色の水菜 コールラビ 丘ひじき 赤ダイコン モロヘイヤ 空心菜 スイスチャージ 落花生 子供のころに食べた黄マクワ ロマネスコ スッキーニ 等がここ数年ではじめてのものです。この夏は丘ワカメを栽培し家では結構楽しく美味しく食べています。この秋にはからし菜 高菜に挑戦しています。

皆さん、こんな事を考えながら又やりながらで人生の老いが遅くなるでしょうか？



受賞者の言葉

<私の人生>

13期 生活 信楽町杉山 杉本つた子

行く河の流れは絶えずして、しかももとの水にあらず。1秒1分1時間1日生きる単位は毎日同じように繰り返されています。昨日、今日、明日連続し変化がないように見えながら同じ時間はありません。親の愛情で生まれたその時、なにも考えず野山を走り回ったその時、空襲の恐怖を過ごしたその時、子育て、仕事に追われたその時、子供が巣立ち新たな人生を見つけたその時、そして今。

悲しいこと、苦しいこと、辛いこと、嬉しいこと、楽しいこと、希望にあふれたこと、それも全て私の人生、誰も経験しないオンリーワンの人生。

今回、米寿の喜びをお伝えくださりありがとうございました。

今年5月に骨折をし、現在リハビリ中です。ゆっくりですが一歩ずつ階段を上げるように回復しております。好きな山登りはできないかも知れませんが、近所を普通に歩けばそれだけで幸せと思います。必ずまた、皆さまに元気でお会いできる日を楽しみにしております。

過ぎ去ればもう八十八年、でも、まだ八十八、種まきはこれから始まります。

明日の不安より明日の希望を持ちながら歩み続けたいと思います。

最後になりましたが、本会と皆様方の益々のご繁栄ご健勝をお祈り申し上げます。



<先輩に感謝>

34期 園芸 信楽町畑 大平穂美

本年レイカディア大学、甲賀・湖南支部信楽分会の理事を受けさせていただきました。

多くの引き継ぎ書類の中から1冊の大学ノートを開きますと、それは滋賀県老人大学(現在は滋賀県レイカディア大学)同窓会信楽分会の結成、発足を記したノートでした。発足は平成元年6月14日と記されています。

発足時の会合は7名の参加者だった事。(全員12名とある)

初代会長 杉本つた子さん 決定事項 ①信楽分会 会費年間 1,000 円②年間2回以上会合を持つ③県本部会費・甲賀郡(現在は合併により甲賀市・湖南市)の会費 2,000 円合わせて12名分 24,000 円を集金する、でした。

平成2年4月25日会合を持ったが5名の参加であった事。少数だったが楽しくおしゃべりをして3時頃解散した等々。ほとんど使っていない最後のページには平成2年10月16日レイカディア大学甲賀郡支部研修旅行が持たれ、信楽から澤さんと二人だけだった。宮跡見学～玉桂寺～県立陶芸の森、強行軍でとても疲れたけれど良かったと記されています。

レイカディア大学信楽地区の始まりを作って頂いた方だと初めて知りました。

大先輩の杉本さん、まだ八十八、種まきはこれから始まります、明日の不安より明日の希望を持ちながら歩み続けたいと記されておられます。

こんな素晴らしい生き方を私も出来たらと、念じております。

活動記録

民謡ボランティア元気なお年寄りに

スポレク 21期 鈴木 勲

民謡を始めてから20年余りになりました。子供のころ大人達が集まった時、皆んなで酒を汲みかわし、宴たけなわになると必ず出てくるのが民謡でした。子供のころは何曲か憶えていました。

定年間近になったとき、知り合いから民謡教室が近くにあるので習ったらとさそわれて、習うきっかけとなり今まで続けています。

声を出すのが健康にも通じています。他人の前で唄を披露するには3年の年月がかかりました。

教室の方々と一緒に、特別老人ホーム、おたっしゃ広場、グループホーム等に出向いてのボランティア20年の長きに渡って続けてきました。皆さんが聞いたことのある民謡を中心に選び、一方的に唄うのではなく、一緒に唄うことを重点にして、大きな声を出してもらう。体も気持ちもリフレッシュしたと言われると、大変うれしく又来ますと約束して、帰ることが多かったようです。三味線、尺八、太鼓、おはやしに合わせての民謡は日本の心のふる里だと思います。



第9回 地域活動事例発表会

発表者 33期 園芸 高田信男

去る11月14日 同窓会本部事業として「第9回 地域活動事例発表会」が近江八幡市ひまわり館で開催されました。

毎年恒例となりましたこの事業は、卒業後、会員の皆さんが日頃の地域活動の事例を発表して頂き、会員相互の今後の活動の役立てればと実施されていますが、今年も県下全9支部から熱い発表と熱心な聴講で会場が盛り上がりました。

甲賀・湖南支部からは33期(園芸)高田信男が「地域の高齢者サロンに画像で歌と話題を届ける!」と題して発表 日頃、地元サロンで実施されているパソコンとプロジェクターを使って歌やクイズ、話題など紹介しながら、会場の皆さんにも歌ってもらったりクイズを考えて頂いたり会場内が実際のサロンのような場になって好評をいただきました。

なお、他の8支部からの卒業生仲間でもいろいろなボランティアをされていたり、卒業生自らが、或いは他のグループに加わって精力的なボランティア活動を実施されているとの発表が行われました。この発表会の様子は、同窓会のホームページ 2016/11/18 更新「第9回 地域活動事例発表会」で9人全員の発表が動画でご覧頂けます。

また、毎年本部から発行される会報の中で(5頁を予定)細かく掲載されることとなっています。



みんなの広場

< 沖縄への旅 >

スポレク 24期 水口 井代一枝

今年、28年6月22日～25日まで沖縄に行く機会に恵まれた。主人と2人で、ツアーの中に入れてもらった。

沖縄に着いた時はとてもうれしかった。昔、41年前の海洋博以来である。その時の記憶はあまりない。ただ沖縄の会場のみの印象しか覚えていない。

今回は初日、ひめゆり平和祈念資料館、糸数アブチラガマへ、ガマの中での説明を聞いて、真暗やみの中で、想像を絶する状況を改めて胸に刻んだ。私自身沖縄で産声をあげていたなら、きっとこの世に今まで存在しなかっただろうと思う。滋賀でよかった。

2日目は、“こどもの国”絵の展覧会見学。行くきっかけとなったのは、昔から尊敬する画家の人の絵本の原画展、会場は、ZOO & MUSEUM。

6月23日は慰霊の日、平和について考え、感じようという特別の日でした。広い会場で、素晴らしい絵に触れ、そして踊りなど見た後、動物のいるエリアなどゆったりまわり、小学生の子供と会話して、あたりを散策していた。あとで特別企画が子ども向けにたくさんあるのがわかった。

漠然と通りすぎていた感じである。土、日曜日でないので、子どもは少なく、ワークショップは、休日に用意されていて、いき当らなかったのが少し残念だったかな。でも今日の日は、昨日と全く変わって安らげる日だった。

3日目は、佐喜真美術館、戦争の傷痕ともいべき絵だったと思う。部屋いっぱいの大きさの絵で、圧倒された事が今も心に残っている。つくづく戦争はいやだ！という思いにつきる。パイナップルパークや、沖縄美ら海水族館、前の海洋博があった場所である。

ホテル横の海岸で、海辺を眺めておられるおじさんに話しかけたら、退職後、ここで住んでおられるとか。やはりこの地は、本土にない住みやすさがある様に思った。昔、30年ほど前、登校拒否になった男の子が、家族で、沖縄に転居された話を思い出した。



基地もあり、オスプレイも音をたてて、上空を飛んでいる。なのにこの南国の魅力とは。景色、それとも住む人なのだろうか。本当に私達の住んでいる土地以上に、すごい戦争体験をしてこられた方達の今の姿、温かさ、人情味、音楽、踊りなど、ふんわりと安らげる空間がある。だんだん思い出も薄らいできたが、近親感はすごく増して、もっと深く知りたいとも思う。なかには2度と沖縄には行きたくないという人もいます。この本島の南側は観光地としてすごく発展しているように思う。



2連泊した宜野湾市のホテル、8階からの夜景は、まばゆいばかりで、中央あたりの観覧車、花火のようにつぎつぎ変化して、それは美しい眺めだった。ついこの間、11月中旬に行った、大阪箕面の山上の観光ホテルの夜景のきらびやかさと、それほど変わらないものだった。箕面の遠方はビルで、海ではなかったが、あの夜景だけはずっと私から離れない。

又、去年は福島以南相馬に行き、1人として住んでおられない、飯館村、浪江町を車で通過して、放射能の目に見えない不気味さを感じて帰ってきた事、ふるさとを奪われ、いいようのない怒りを秘めて過ごしておられる方が、滋賀に在住、話を伺って、どうか滋賀に関係ある、福井の原発はじめ、その他の原発も、作動しない事を祈るばかりです。

平和な日常を全ての人々が得られるようにこれらの旅でより深く感じました。



支部事業活動報告

作品展と新入会員歓迎会

平成28年10月20日(木)、21日(金)両日、水口中央公民館・視聴覚室に於いて、会員の趣味の作品展が開催されました。出展者は26名、俳句、川柳、書、絵画、写真、陶芸手芸品、盆栽、菊鉢等々の作品数は58点と数多く出品され、今まで鍛えてこられた技量、智才腕前を発揮された作品です。一般見学者も、多数来館されました。



平成28年10月21日(金)水口中央公民館・講義室に於いて新入会員歓迎会が開催されました。37期で卒業された7名の新入会員(下記名簿)と、29名の既存会員の紹介の後歓迎アトラクションとして、31期地域文化卒の平田尚士ほか5名の「ハワイアンバンド」『アロハレア』によるハワイアンが数十曲演奏されました。

記 作品展、新入会員歓迎部 22期 陶芸 小林和雄

新入会員名簿

	氏名	学科	地区
1	渡辺 貴誉子	園芸B	水口
2	鈴川 登志子	陶芸	水口
3	米田 幸子	地文	水口
4	村上 多津美	地文	甲南
5	市井 眞一	地文	土山
6	高木 和子	園芸A	信楽
7	増田 勝彦	園芸B	信楽



甲賀・湖南支部 日帰り旅行

平成28年11月10日(木)、神戸方面への滋賀観光バスによる「甲賀・湖南支部 日帰り研修旅行」を実施しました。

朝8時の甲南支所前始発に始まり、「神戸海洋博物館・カワサキワールド」見学、「南京町(昼食)」散策、「神戸市立森林植物園」散策並びにバス内懇談等で、久しぶりに会った会員とゆっくりした時間を過ごし、18時40分甲南支所前にほぼ予定通りに帰着しました。

「神戸海洋博物館・カワサキワールド」の神戸海洋博物館では、神戸港の歴史、いろいろな船舶をジオラマや模型により、同時に来館していた多数の学生に交じって楽しむことができました。

カワサキワールドでは、新幹線も含む鉄道車両、タンカー等の各種船舶、ヘリコプター等の各種航空機といった日本の重工業を1世紀以上牽引してきた川崎重工の歴史をかいまみることができました。

またかの有名な「松方コレクション」が川崎重工初代社長松方幸次郎のものであったことを知り、芸術にも秀でた社長という意味で新鮮な驚きでした。

昼食は南京町の上海料理店で本場の味に舌鼓をうち、その後、修学旅行の学生や観光客でごったがえした南京町界隈を散策しました。

最後に、神戸という狭い土地柄から、都会の近くにある 神戸市立森林植物園を訪れました。

ここでは1週間前と打って変わった急激な寒さの為、綺麗に色づいた紅葉をみることができました。

この森林植物園は、外国産の樹木500種を含む1200種の樹木が年中楽しめるように配置された143ヘクタールの広大な植物園で、1日中でもハイキング等で楽しむことができます。公共交通機関の便が少ないのが難ですが、又来てみたいと思わせる場所でした。

当初、30名の最低催行人数確保に苦労した日帰り旅行でしたが、皆さん方のご協力により32名が参加していただき、楽しい旅行にさせていただきました。

ありがとうございました。

記 旅行部 34期 園芸 浦田 好造

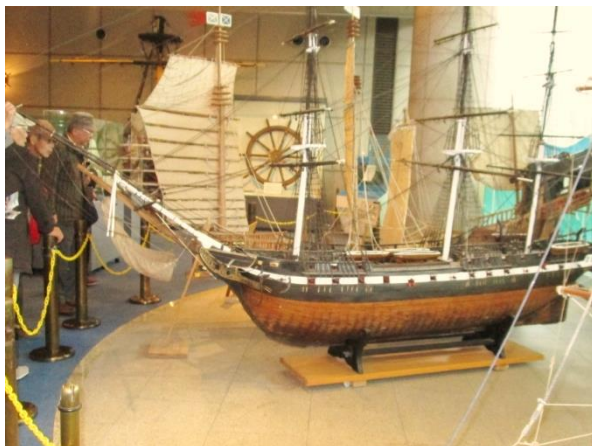


神戸海洋博物館とカワサキワールド

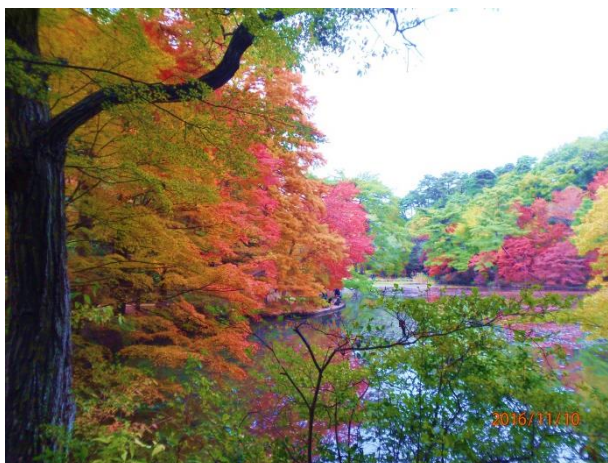


南京町界隈
の賑わい

英国戦艦 (神戸海洋博物館)



(神戸市立森林植物園)



長谷池の紅葉

ボランティア活動の実態を聞き取り調査

ボランティア活動部では、今年の8月末、支部内の各地区担当理事さんをお願いして、担当エリア支部会員の皆さんに、◎今現在どのようなボランティア活動に関わっておられますか？

◎活動グループの名称、活動内容 ◎活動回数及び活動グループの人員とその内レイ大卒業生の人員 これらの事項について聞き取り調査をお願いし、9月末に各理事から報告を受けました。

その結果、79の活動報告を頂きました。活動内容の重複や自治会や高齢者団体の役員等々、活動内容を精査する必要はあるものの、レイカディア大学を卒業して、同期の仲間が集まっている活動や、学んだ陶芸や健康体操、紙芝居等々を生かした活動グループに所属してバリバリ活動をされている報告を数多く頂きました。

これまで、支部の会員がどのようなボランティア活動をどんなグループに所属してご活躍されているかの実態を掌握出来ていませんでしたが、これを機に皆さんの活動の輪がこれからレイカディア大学を卒業される後輩各位に受け継がれ広がって行くことになればと、ボランティア活動部も更に取り組みを進めたいと思っています。

～活動内容の抜粋～

《レイカディア大学卒業生だけの取組団体》

- ・湖南スーパー竹トンボ ・レイカ34期会紙芝居 ・湖南市レイ大交流会
- ・湖南市レイカ湖南剪定会 ・社会福祉協議会関連施設周辺整備G
- ・ささゆりサポート隊 ・森づくりサポート隊(みろく会)
- ・レイ大サポート隊園芸クラブ

《取組団体に支部会員が加入して活動されている団体》

- ・シュガー(子育てサロン) ・観光ボランティアガイド(各地区単位で活動)
- ・NPO 法人湖南ネットしが ・湖南市琵琶湖よし笛アンサンブル
- ・水口キャラバンメイト ・水口おもちゃライブラリー ・里山元気会
- ・レクダンスマーガレット / よりみち ・創造の森を良くする会

※ 上記の活動抜粋は、たくさん頂いた報告の中で例えば・・と紹介する意味で

計上しました。各項目とも他にも多くの団体がありました。今後の取組では、頂いた内容を更に整理して、支部会員が活動されている団体の概要として整理し、会員や後輩諸氏から活動ボランティアの紹介等に寄与できればと考えていますが、引き続き会員各位さまが取り組まれている活動団体の情報を何時でも受け付けておりますので宜しくお願いいたします。



(記 : ボランティア活動部 高田 信男)

体育部から

甲賀、湖南支部の グラウンドゴルフ大会の報告

日増しに寒さが厳しくなり行く今日この頃ですが、会員の皆様、いかがお暮らしですか。

11月17日に今年度2回目の、レイ大甲賀、湖南支部のグラウンドゴルフ大会を湖南市の親水公園にて実施しました。参加者は19名で、楽しいひと時を過ごすことが出来ました。

成績は良かった人、又もうひとつだった人色々あったかと思いますが、優勝者は、新入会員の、市井眞一さんでした。2位に木下恵美子さん、3位は木村栄子さん。当日賞は奥本静子さんに当たりました。賞に入らなかった方は、次回頑張りましょう。

次回開催の時にはもっと多くの参加を期待致します。これから益々寒くなりますので、会員の皆様お体を大切にしてください。

体育部 畑中 良一



第2回甲賀・湖南支部グラウンドゴルフ大会 於 野洲川親水公園

里山ハイキング同好会活動記

太郎坊宮散策

この9月27日は天候不順の中、丁度晴天になった一日であった。ところが当初6人参加がそれぞれの事情から3人となった。10:00に東近江市の太郎坊宮参集殿下の駐車場から山行をスタートする。

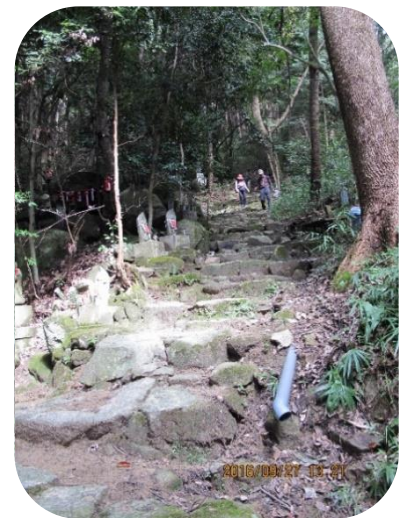
西側の表参道階段742段(326m)の途中450段あたりから石段を登り、夫婦岩と呼ばれる大きな開いた岩の間を通り、太郎坊宮本殿に参拝する。その前にある太郎坊天狗に手を合わせる。本殿前テラスからは眼下に万葉集に詠われている蒲生野が一望できた。ここより60m程下ったところにある手水舎で後になったが手を清めて、その横より始まる「箕作山ハイキングコース」の表示に従って歩く。

ゆっくり山道を箕作山へ向かって登っていくが、蜘蛛の巣が多く、小枝を拾い前方で回しながらすす払いをして進む。途中で左折して太郎坊山(赤神山)に行く。岩の重なりを登り切ったところが頂上で、安土山が遠方に見える。ここで一服後もと来た道を分岐まで戻り、箕作山へ向かって歩く。

手造り休息小屋を通り、アップダウンを繰り返して箕作山頂上に立つ。北の彦根方面には荒神山と多景島(軍艦島)美しく見える。手前には繖山、観音寺山がある。さらに鈴鹿から比良まで四方展望が開けた絶景ポイントだ。ここで早い目の昼食とコーヒタイム休憩を取る。12:00前に着いたので小脇山までの予定を麓の十三仏まで下り、山を一周することになった。15分くらいで二つ目のピーク小脇山に着く。

ここも展望が良い。午前中は風がなく蒸し暑かったが、午後から風が出て日差しもあまりなかったので気持ちよく歩けた。

休息後十三仏に向かう。十三仏は聖徳太子が岸壁に爪で刻んだと言われており、周りは巨岩だらけ。ここからの石段の下りは15分くらいが結構長く感じた。竹林を抜け、猪、鹿除けのフェンスの門を開けて麓の道に出る。貯水池の横の道を歩いたが、田んぼは大型コンバインによる稲刈りの真っ最中。風にふかれて、日差しも雲にさえぎられて涼しく、太郎坊山の麓の道をのんびり歩いて太郎坊宮の参道の石段下に着く。ここまではよかったが予定外の一週巡りをしたので朝パスした450段の石段を登りなおさねばならず、2回の休息の後やっと駐車場に着いた。結局742段すべてを登ったことになった。ご苦労様でした。



十三仏への石段下り

疲れたがさわやかなハイキング

グでした。 里山ハイキング同好会 31期 地文 高山雅史



太郎坊山



十三仏

おとぎ 高旗山と御斎峠展望台ハイキング

前日からの好天に恵まれた11月18日(金)、参加者9名(男性7名・女性2名)が2台の車に分乗して、先ずは信楽町多羅尾の東方にあたる三重県との県境にある御斎峠(標高630m)に向かいました。

この峠からの眺望の素晴らしさは古来より語り伝えられ、伊賀地方、奈良、金剛の山々が遠望できる地であって、その昔、「本能寺の変」で徳川家康が、京都・大阪をえて伊勢へ逃れる際、多羅尾氏に警護されてこの峠を越えたと伝えられています。

峠にある「多羅尾御斎の杜」標識近くに駐車し、伊賀盆地絶景展望台に向かいました。展望台から見る眺望は素晴らしく、眼下に伊賀盆地や遠くは鈴鹿山脈・青山高原が一望できるパノラマ風景でした。

また、峠付近には「徳川家康伊賀越えの道」の標識があり、伊賀越えのルートとして知られています。この標識の脇には代官所仕置場の案内板もあって、鬱蒼とした杉木立の中に二基の供養塔が建てられていて、歴史を感じる場所でもありました。

高旗山に登る登山口までの途中に、山口誓子の句碑や古来池の水が枯れたことがないと伝えられている「弘法の池」などがあります。

高旗山(標高710m)には南登山口から登ることにしました。登山道は急な坂もなく、よく整備されて比較的歩きやすい山道でした。この山道を落葉の感触を楽しみながら、所々にある「山頂までもう一息」の標識に励まされ、無理せず30分くらいかけて山頂に向かいました。

山頂部は樹木も切り払われ開放的な空間となっていて、ここから見る展望も御斎峠展望台から見る景色と遜色ない素晴らしいものでした。

この眺望を見ながらの昼食及び記念撮影を済ませ、高旗山北登山口に向けて下山しました。北登山口近くの多羅尾温泉のロビーで一息入れ、舗装された車道を晩秋へと移行行く山の景色を楽しみながら御斎峠の駐車場に向かいました。

帰路の途中、御斎峠へ通じる旧道で大きな岩肌に彫られている摩崖石仏群を見学し、当時の行きかう人々を偲びつつ、秋晴れのなか無事に本日のハイキングを終えることが出来ました。

里山ハイキング同好会

32期 生活 大塚勝義



グラウンド・ゴルフ同好会の活動状況

同好会活動の一つにグラウンド・ゴルフ同好会があります。活動を続けて約10年、平成28年度の今日までの活動状況を皆様にお伝えしますと共に、興味のある方は初心者を含め入会をお待ちしております。

同窓会仲間と言ってもなかなか皆さんとの交流の場がありませんが、季節折々の風を感じ皆さんとの雑談に花が咲き、和気あいあいの機会は高齢者のリフレッシュになるのではないのでしょうか。

甲賀、湖南市に点在するグラウンド・ゴルフ場を廻って楽しいひと時を過ごしています。現在会員は30名弱ですが大会ごとに10数名の参加があります。



本年最後の大会を師走の8日に開催しました、年末でもあり参加会員は少なかったですが、グラウンド場の傍のモミジの赤い色と銀杏の黄色が実に見事なコントラストを描いており、この絶景を背景に師走とはいえ穏やかな気候のもとプレーを満喫しました。

28年度は6回計画しており、12月で5回開催しました。

{平成28年度活動状況}

第1回	H28.5.12	水口 野洲川 G.G. 場
第2回	H28.6.28	甲南 杣川 G.G.場
第3回	H28.9.16	土山青土ダム G.G.場
第4回	H28.10.31	甲南 杣川 G. G. 場
第5回	H28.12.8	水口 野洲川 G.G.場

なお、来年3月末までに2回の開催を予定しています。

グラウンド・ゴルフ同好会 入会希望者は

年会費 500円

申込先 木田 勝彦

甲賀市水口町三大寺11

TEL.0748-62-4059

氏名・住所・卒業学科・期を記載ください。



(グラウンド・ゴルフ同好会世話役 22期 スポ 木田 勝彦)

編集後記

毎年のことですが、1年を振り返ると平成28年にも多くの出来事がありました。熊本の大震災をはじめ日本や世界各地での災害、アメリカの次期大統領選挙、隣国で大統領の退陣要求デモ、ヨーロッパ諸国の排他主義の拡大などは心を痛めるものですが、リオ・オリンピック、パラリンピックでの日本選手の活躍や、大隅博士のノーベル賞受賞、長浜の曳山の世界遺産に登録など心温まる話題もありました。

平成29年でも今では予想もしない出来事が起こる事でしょう。

初めて同窓会の文化広報部員を担当させてもらい、今年はできるだけ多くのイベントに参加しようと思い、発表会やグラウンドゴルフ大会などに参加しました。

ボランティア活動発表会では、甲賀・湖南地区の高田さんの講演は楽しくて、もっと時間を延ばしてほしいと皆さんが感じたのではないのでしょうか。又、公民館での作品展示は絵画、盆栽、陶芸、工芸品など素晴らしい出来ばえのものが展示されて皆さんの日頃の活動に想いを馳せることができました。

2回のグラウンドゴルフ大会も和気あいあいでした。このように楽しい集まりの同窓会活動なのに入会者が増えないのが残念です。レイカディアの卒業生に「同窓会は楽しい交流の場」を知ってもらいたいと思った1年でした。

文化広報部 33期 陶芸 林 弘實



2017年